



▶上士幌高校 / 3月1日(日)



卒業おめでとう

▶上士幌中学校 / 3月13日(金)



北門小児童3人が全国児童版画コンクール入賞

第24回日専連全国児童版画コンクールで、北門小学校の児童3人が見事入賞しました。入賞者は以下のとおりです。

左から泉田真愛さん(5年)『そばの実をひいている自分』【優秀賞】、松尾彪希さん(6年)『そば、切ってます!』【銀賞】、兼子滯待さん(5年)『そばがのびたかな?』【銀賞】。右は指導した木下英之教諭。

2・3月の まちのわだい



「まちのわだい」のコーナーでは、みなさんからの楽しい話題や情報をお待ちしています。
企画財政課情報交流担当 ☎ 2-4290 または E-Mail ✉ kikakuzaiseika@town.kamishihoro.hokkaido.jp まで、お気軽にご連絡ください。

2月18日

二愛計画策定委員会が答申書提出



上士幌町二愛計画（第6期高齢者保健福祉計画及び第6期介護保険事業計画、第4期障がい福祉計画）の策定について、町二愛計画策定委員会が、竹中町長へ答申書を提出しました。同委員会では、昨年9月より4回会合を開き、本計画の内容を審議。地域包括ケアの実現や障がいのある方への支援について答申されました。

高橋強委員長は、竹中町長に対し「高齢者も障がい者も安心して暮らせるまちづくりを期待しています」と述べられました。

2月18日

雪の上での熱き戦い〜雪中運動会〜



上士幌保育所にて、雪中運動会が開催されました。そりりレーや雪中玉入れなど、冬ならではの競技が行われ、子どもたちは冬の寒さにも負けず、雪の上を元気いっぱい飛び回りました。



2月19日

保育所リングプル・エコキャップ寄付



上士幌保育所保護者の会が、社会福祉協議会に缶のリングプルとペットボトルのキャップを寄付しました。回収されたリングプルは、約70キログラム集まると車いすに交換でき、またキャップの売却益は、社協から「NPO法人世界の子どもたちにワクチンを日本委員会」を通じて、ポリオワクチン代として寄付されます。

保育所そごう組の子どもたちから受け取った山口事務局長は、「保護者をはじめ、町内の方々に寄付していただき感謝しています。この活動を通して、子どもたちには「ゴミを少なくすることや資源を大切にすることを学んでほしい」と話していました。

2月25日

スクールバス夢基金号納車式



スクールバス「ふるさと納税夢基金号」の納車式が、上士幌中学校で行われました。このバスは、上士幌町ふるさと納税・子育て少子化対策夢基金の事業として導入されたもので、町内の小中学生からデザインを募集し、「ほろんちゃん」や町の観光資源である牧場・温泉をあしらったカラフルな外装となっています。

外装デザインが採用された1年生の野口はるかさんは、「自分のデザインがイメージ通りになってうれしい」と話していました。なお、バスは3月2日から運行しています。

3月2日

前田姉弟がスキー全道大会出場



スキーの滑走技術や姿勢の美しさなどを競う第4回北海道ジュニアスキー技術選手権大会に出場する上士幌中学校1年の前田紫帆さんと上士幌小学校5年で弟の滉太さんが、教育委員会を訪れ、大会への意気込みを語りました。

全道大会出場が初めての2人は「きれいに滑れるようターンの姿勢に気を付けて頑張りたい」と抱負を述べました。

3月5日

上士幌保育所おわかれ会



上士幌保育所でおわかれ会が開かれました。会では、今年度修了を迎えるぞう組の子どもたち31名が、ふるさと納税・子育て少子化対策夢基金で購入した和太鼓で「えのめ太鼓」を初披露しました。この日のために練習してきた子どもたちは、威勢の良い掛け声と迫力のある太鼓の音色で会場を盛り上げました。演目後には、年中・年少児から合唱がプレゼントされ、「今まで遊んでくれてありがとうございました。小学校へ行って元気にがんばってください」と感謝とエールが送られました。

認定こども園「ほろん」落成式

3月10日

上士幌町認定こども園「ほろん」の落成式が行われました。4月に開園となる認定こども園が初披露となり、関係者43人が出席し完成を祝いました。

愛称である「ほろん」には、町民のみなさんに親しまれ、子どもたちの真剣なまなざしと笑顔があらわれる施設になるよう思いが込められています。

式では、竹中町長や杉山議長らがあいさつしたほか、子どもたちによる合唱や和太鼓の演奏が披露されました。終了後、新しい施設を体験した子どもたちからは、自然と笑顔がこぼれていました。



3月13日

「上士幌福寿協会」福祉3施設落成式



上士幌福寿協会がすすらん荘の南側に建設していた介護福祉3施設（地域密着型特別養護老人ホーム「こまくさ苑」、小規模多機能型居宅介護「まつば」、地域交流スペース「こでまり」）が完成し、落成式が行われました。

はじめに、福寿協会の馬場理事長、竹中町長、杉山議長によるテープカットが行われました。その後、馬場理事長が「上士幌の地域福祉をより一層推進できる施設が完成しました。地域とともに歩む社会福祉法

人として、さらに努力していきたいと思えます」とあいさつし、竹中町長と杉山議長が祝辞を述べました。

3月13日

上高ソフトテニス部表敬訪問



第51回北海道高等学校インドアソフトテニス選手権大会（3月14～15日・釧路市ほか）の女子ダブルスに出場する上士幌高校2年の雪野紗矢さん（写真左）、塩田文香さん（同右）ペアが教育委員会を訪れ、馬場教育長に大会での健闘を誓いました。

3月16日

建設業協会クリアファイル寄贈



上士幌町建設業協会（川村文雄会長）が、この春小学校へ入学する町内の新1年生36人のため、クリアファイルを寄贈しました。

宮内隆総務委員長よりクリアファイルを受け取った馬場教育長は、「子どもたちのため、毎年寄付していただきありがとうございます。いろいろな場面でお力をお借りする場面があると思うので、よろしくお願ひします」と感謝の言葉を述べました。

平成26年度上士幌町文化賞・スポーツ賞等表彰式



受賞者を代表してあいさつされたゲートボール協会の水戸正幸さん

3月14日(土)、平成26年度上士幌町文化賞・スポーツ賞等表彰式が山村開発センターで行われました。今年度は文化賞部門に1団体14個人、スポーツ賞等部門に7団体43個人が選ばれ、西田教育委員長より、受賞者へ表彰状と記念品が授与されました。

また、受賞者を代表して上士幌町ゲートボール協会・会計長の水戸正幸さんがあいさつし、「このたびは、このような素晴らしい賞をいただきありがとうございます。受賞者を代表して感謝を申し上げます。これからもみなさんのお力をお借りして、上士幌町の発展とスポーツの振興に寄与していきたいと思います」と述べられました。

～各賞と受賞者(敬称略)～

◆文化賞(個人)

小澤 裕

◆文化奨励賞(団体)

北海道上士幌高等学校吹奏楽部

◆文化奨励賞(個人)

相澤 志保

◆少年文化賞(個人)

兼子 滯侍/泉田 真愛/松尾 彪希

◆少年文化奨励賞(個人)

山本 蒼空/佐々木 はるか
石川 璃空/山本 蓮/蟹谷 呼春
塩崎 ひびき/岩瀬 愛未
近藤 杏奈/八木谷 優衣

◆スポーツ賞【功労】(個人)

水戸 正幸/菅原 洋一

◆スポーツ奨励賞【優秀選手】(団体)

◇上士幌町ソフトボール協会

細岡 浩幸/川村 千明/関 克身
宮部 直人/内田 裕太/南雲 亨陸
本田 隆浩/杉原 基康/鎌田 大
古川 泰弘/松島 勇武/沓名 実咲
中村 光里/玉手 文香/細川 和浩
足立 隆晃

◆少年スポーツ賞(個人)

河瀬 智紀

◆少年スポーツ奨励賞(個人)

竹内 愛詩/森下 紗那/泉田 真愛
大野 隆貴/渡邊 夏鈴/石川 紗希
中島 ほのか/杉山 恭一
森田 恵水/嶋木 樹

◆少年スポーツ奨励賞(団体)

◇上士幌ミニバスケットボール少年団(男子)

星 健太郎/泉田 龍紀/賀陽 優太
高橋 直斗/賀陽 大祐/門馬 博斗
中田 匠/高橋 捺/三浦 達巳
横山 陸翔/浅野 陽当
大江 健太郎/砂川 慈侑

◇上士幌ミニバスケットボール少年団(女子)

石川 玲衣/赤間 華美/福澤 優羽
三田村 莉真/泉田 衣音
牧野 葵々/中田 侑楽/大江 花凜
町田 寧々/星 夏海/菅原 一紗
久田 なつみ/成田 奏/西川 花音

◆少年スポーツ努力賞(個人)

森田 新弥/森田 晴水/齊藤 寧々
吉澤 優人/高田 才偉門/出田 らい
杉山 詩歩/五十嵐 舞桜/兼子 滯侍
玉手 春菜/齊藤 善/老月 萌桜
佐藤 ほのか/老月 咲桜

八木谷 真緒/五十嵐 日和
高橋 志乃/泉田 恭汰/塚本 英麗奈
八重樫 拓海/小川 愛加里
矢戸 琉菜/川端 堅慎/石田 安美
細木 開斗/鳥切 準基/雪野 紗矢
塩田 文香/神田 菜奈/近間 美穂里

◆少年スポーツ努力賞(団体)

◇上士幌中学校ソフトテニス部(女子)

石川 紗希/石田 安美/大平 虹冬
近藤 杏奈/中島 ほのか
矢戸 琉菜/根本 優季/小川 愛加里

◇上士幌中学校卓球部(男子)

八重樫 拓海/梅津 利輝
大野 隆貴/菅原 楓/松岡 紫苑
松岡 奎斗/根本 優嗣/泉田 恭汰

◇上士幌中学校サッカー部

秋林 瑠々/河瀬 拓真/杉本 航
杉山 達哉/鈴木 有梨亜
高井 黎弥/高澤 祐希/竹内 歩
西川 弘真/細川 大輔/折笠 竜馬
川村 政人/平野 遼太郎
松岡 雅也/熊谷 魁

◇北海道上士幌高等学校ソフトテニス部(女子)

宮部 遥菜/野々村 双葉
高橋 梨奈/雪野 紗矢/塩田 文香
神田 菜奈/近間 美穂里

地域を変えてく新しい力

地域おこし協力隊活動報告

TITLE: 新鮮な目と原点を忘れずに

記: 障がい福祉支援員 春口 奈緒



先日、サポートセンター白樺利用者の方が描いた絵手紙にあった「新年に働く決意 固めてる」という言葉に胸が熱くなりました。この方は選果場で一定期間働く機会があり、働き終え、たくましくなった姿に“働く”ことはお金だけではない大きなものを得ることができるのだと改めて感じました。

「どんな小さい町であっても、障がいのある人が働ける場所があれば町を出ていなくてもすむ。いずれ親が亡くなっても地域の人たちとずっと関わりながら生活をしていける環境の中で生きて行って欲しい」。これは、ある保護者の方の言葉です。

障がいのある方が実際に仕事をするには多くの壁があり、それには本人や企業の努力だけではなく、関係機関や地域の理解が欠かせません。

働く場のひとつとして、現在町ではサポートセンターと福祉的な就労の場の整備を進めています。

私はこの3月で協力隊の任期を終え、今後はサポートセンター白樺で働かせていただくことになりました。これからは、現場にいるからこそできる働く場づくり、また地域づくりに携わっていきたいと思っています。

任期中はたくさんの方に支えられ、多くの出会いと貴重な機会をいただき大変感謝しております。これからもよろしくお願ひします。



▲「サポートセンター白樺」の利用者の方が描いた絵手紙

上士幌高校新聞局 通信 月刊 上高



▲「仲間と高め合い成長していきましょう」と在校生へエールを送った卒業生代表の宮部純香さん

3月1日(日)、上士幌高校で第52回卒業証書授与式が行われました。男子生徒41人、女子生徒26人、合計67人がこの学校から旅立ちました。

例年以上に張りつめた雰囲気の中、少し緊張していた卒業生。在校生は、これから旅立つ卒業生のため、真剣に式に取り組み、卒業生に対する熱い思いが伝わる式となりました。

送辞や答辞では新旧生徒会長から

それぞれ挨拶があり、卒業生は後輩から新たな旅立ちへの励ましの言葉を、在校生は先輩から今後の糧となる言葉を受け取りました。

卒業式終了後、送別会が行われました。最後に各部活動に分かれて、卒業生との別れを惜しむ姿がありました。在校生が花束や色紙などを卒業生に手渡し、卒業生は在校生に最後の言葉をかけていました。卒業生は在校生とのわずかな時間を過ごし、新たな未来に向けて第一歩を踏み出しました。

新体制となった上士幌高校では、この春新1年生が入学してきます。卒業生が残した伝統をしっかり受け継いでいきたいと思ひます。

3月1日(日)
在校生へ送る最後の言葉

文責 木村 凌也

川柳

短歌

昨夜よりの降雪深く長靴をリュックを取り出し施設へ急ぐ
 焼夷弾の火の粉は街を覆ひたり五歳の吾の脳裏に残る
 定期診察の筆記にて返答のスムーズにきこえぬ耳にうれしかりけり
 かなしみの渇くひまなく弟の死手術後の声大丈夫を言いたり
 かぜが削ぐ雪の断面つらなりて二月よ野辺の拵りやまぬも
 高校の部活の先輩鬼と云ふあさのラジオに笑ひあふるる
 年金でランドセルに託す夢
 春一番ぼかぼか陽気が知らせてる
 勉強しでっかい夢をつかみたい
 誕生日祝ってくれる友がいる
 道端で春を告げてる福寿草
 買物に母からもらうありがとう
 雪解けに合わせて冬を脱ぎ捨てる
 血圧を気にし薄味慣れて行く
 政治家はいつも正しい理屈あり
 新たなる門出に喜び胸を張り
 七十年平和の国から武器輸出
 血を流す人間決めてる野心

坂田 いさ子
 高木 誠也
 小松 由美
 鈴木 希子
 米森 豊
 薮森 樹
 丹根 守
 斎藤 昭次
 斉藤 敦子
 桜藤 花
 白石 馨

石川裕子
 高木慶子
 本間栞風

平成27年 2 月末現在の人口

男 2,373人(-4)

女 2,504人(-1)

人口 4,877人(-5)

世帯数 2,328世帯(+4)

平成26年度 ふるさと納税寄付金

2 月分 2,887件
 52,816,000円

累計 50,282件
 894,748,507円

※全国より本町に篤志寄付の応援をしていただき心より感謝を申し上げます。

上士幌町民憲章

- 1 心もからだもきたえ、すこやかな人になりましょう。
- 1 おたがいに立場を理解しあい、楽しい家庭をつくりましょう。
- 1 きまりを正しく守り、明るい社会をつくりましょう。
- 1 自然を愛し、美しく住みよいまちにそだてましょう。
- 1 文化をたかめ、豊かな郷土を築きましょう。



編集後記

◎ 今月は、認定こども園や福寿協会の新施設の落成式取材しました。どちらの施設にも、地域のみなさんが利用できる交流スペースが設けられているのが特長です。◎ これらの施設を通して、年齢・性別問わずさまざまな方々が交流し、まちが活気づくことを期待しています。・・・S
 ◎ 認定こども園の施設見学会に行ってきました。園児たちがすくすく元気に育っていくことを期待しています。◎ ちなみに私事ではありますが、別の部署へ異動となりました。初めての担当ですが、広報担当で得たものを出していきたいと思っております。今後ともよろしくお願いたします。・・・K

広報 **がみしほろ** 5 月号は 4 月 24 日(金) 発行予定